

嘉麻市は、九州大学大学院農学研究院附属昆虫科学・新産業創生研究センター（以下、九州大学という。）と連携して、市内の廃校を活用したカブトムシ大量飼育の実証事業を開始します。

嘉麻市は令和4年8月に、九州大学と、それぞれの資源を有効活用し、相互に連携協力することにより、地域課題の解決、人材育成、異分野融合研究の推進、その他地域の活性化に寄与することを目的に、連携協定を締結しました。この協定をきっかけとして、嘉麻市発の昆虫を活用した新産業の創出につなげることを目指し取組みを進めています。

ぜひ、取材をお願いいたします。

○事業開始日

1. 日 時 令和5年9月19日（火） 13：00～
2. 場 所 旧千手小学校（嘉麻市内）
〒820-0332 福岡県嘉麻市千手 1253 番地 1
3. 事業窓口 国立大学法人九州大学大学院農学研究院 准教授 紙谷 聡志
4. 事業概要 本事業は、昆虫（かぶとむし）、及び未利用の有機廃棄物（竹、家畜糞等）を活用した持続可能な地産地消型高機能養鶏飼料の生産システムの開発を目指し、当該システムによって生産された飼料を用いて採卵鶏への飼養試験、及び生産物（卵）の機能性評価を実施する。本事業によって、採卵鶏農家は海外に依存せず安定的に飼料のタンパク源が確保できるとともに、生産物の高付加価値化が期待される。

【問い合わせ先】
嘉麻市役所総合政策課
特命政策担当（穴見）
直通 0948-42-7454
内線 1186